

青年会 7/25 2 4 6
洋光台集会 7/28 1 8 9
入門講座 I 7/29 3 6 9

—牧師室から—

「苦海浄土」の石牟礼道子氏、「ひょっこりひょうたんじま」の井上ひさし氏、哲学者・久野収氏 TBS「ニュース23」のキャスター・筑紫哲也氏、「貧困なる精神」の本多勝一氏の5氏が購読者を募り「週刊金曜日」を発行するという新聞公告が出されていた。注文したところ、まず数号「月刊金曜日」を出すと言う。「通信1号」が送られてきた。

「創刊のことば」には、権力は必ず腐敗するから、近代国家は「三権分立」を創出した。ところがこの三権も国家権力に癒着した。この癒着を防ぐ「第四権力」としてのジャーナリズムがある。ところが、そのジャーナリズムも国家

権力の広報機関化している、と論じている。まさにそうであろう。

そして、最近の政治状況を下記のように分析している。マスコミは「政治改革」のための「政権交代」をあおった。結果は、新党の飛躍、社会党の惨敗、そして自民党の善戦であった。政権交代は起こる状況になった。しかし「改革」は本当にできるのか。実態は「総自民党化」の幕開け、つまり「翼賛政治」のはじまりではないか。自民党幹部は「日本新党」を「ウイングが広がった」「保守党のパイが広がった」と言っているという。憲法改正（悪）に必要な三分の二を越える議員を確保した。マスコミが扇動する「政治改革」の大合唱の中で、憲法は何時でも変えられる状況を作った。「月刊金曜日」は「これは、衆愚が選択した日本政治自滅の第一歩だ」という。「衆愚」という言葉には大きな反発を感じるが、マス・メディアの発達した今日、ジャーナリズムが政治を作ると言っている過言ではない。敗戦記念月の8月、平和について考えたい。

週報

1993年8月1日 聖霊降臨節第10主日

平和聖日

巻14 18号

1993年度教会主題

「キリストが私たちの内に形づくられる」

聖句 二人は言った。「主イエスを信じなさい。せつすれば、あなたも家族も救われます。」そして、看守とその家の人たち全部に主の言葉を語った。

使徒言行録 16章31節～32節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 教会の組織を再検討し、キリストの体を作る。
 3. 家族こそって主イエスを賛美する。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29
電話 045-833-5323、045-833-6616
振替 横浜 9-13994

牧師 秋吉隆雄